

# 平成30年度 白馬高校学校評価

<b>【学校教育目標】</b>
真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、創造力と自主的精神に充ち、地域と国際社会に貢献できる個性豊かで心身ともに健康な人材の育成を目指す。

<b>【重点目標(中・長期的目標)】</b>
「白馬にしかない」学びの創造
①地域と連携した全国モデルとなる学校協働運営体制を構築する。
②地域資源を最大限に活用し、国際的な視野を持ち地域視点で行動するグローバル人材の育成。
③基礎的な学力の定着と21世紀型学力の育成に向けた授業改善と授業力向上。
④自らの生き方を主体的に意思決定し行動できる進路指導とキャリア教育の充実。

<b>【今年度の重点目標】</b>
「改善と創造」
①地域提案を活かした学校づくりを進めるための連携体制の改善と強化。
②効果的・積極的な情報発信と地域・小中学校との交流の促進による開かれた学校づくり。
③コース制の特色を生かした探究的な学習活動の展開とカリキュラムの改善。
④観光における地域・企業・大学と連携した系統的なキャリア教育の構築。
⑤きめ細かな支援と相談体制の充実による安全・安心な学校づくり。

## ◎教育活動に関するもの

	評価項目	評価の観点	担当	目標・留意点(関係組織・評価方法等)
	新教育課程の教育内容	新教育課程の教育内容は、生徒の進路実現に効果的なものであったか。	教育課程委員会	進路状況、資格取得状況等の結果に拠る。
		類型別選択制について、選択群の構成並びにそれに属する科目の配置及び内容は適切であったか。		
学習指導と教育課程	各教科	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	国語科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
		授業編成の工夫や添削指導などを含むさまざまな補習を通して、個々に応じた基礎学力の向上を図ることができたか。また、言語能力の育成を意識し、対話(双方向)的な活動を行ったか。	数学科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート) 添削指導や補習等を年70日以上実施できたか。
		習熟度別授業や選択授業、また放課後や土曜日の補習を通して、個々に応じた基礎学力の向上を図る。ALTとのTTの授業や校外でのフィールドワークを通じて、生徒が生きた英語に触れ、英語を使うことの喜びや楽しみを見出せたか。	英語科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート) 補習を定期的実施できたか
		日本と世界の地理・歴史および政治経済に関する基本的事項を理解させ、地域や社会に貢献できる態度を育むことができたか。	地歴公民科	地域の課題および地域を題材とした授業を立案し、実施することができたか。
		「観光」にかかわる学習活動をさらに拡充させ、より魅力的で、より教育効果の高いものとするための研究をしたか。		新規に発案した企画、および、改善を加えた企画を2件以上立案し、実施することができたか。
		基礎的な学力の要請は勿論、実験・実習・巡検を活用しながら自然科学への興味を育て、探求的な学習による言語活動を通して、発展的な学力の向上を図ることができたか。	理科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
		運動の実践を通して、技能及び体力の向上と主体性のある調和の取れた人格の形成を目指す。一人一人が健康に関して認識を持ち、日常生活の中で、適切な意思決定や行動選択をすることができるようにする。	保健体育科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
		生徒ひとりひとりの技能、技術の伸長を図ることができたか。完成した作品等が生徒に満足感、達成感を与えられているか。	芸術科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
		自立した生活を送るための生活力を身につけるために、実験・実習を活用して授業展開を工夫し、生徒が主体的に取り組むことができたか。	家庭科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
		商業科目に興味を持たせ、資格取得を通じて、社会で使える知識・技術(スキル)を身に付けさせることができたか。	商業科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能の習得と情報社会の特性を理解し、情報化の影の部分に対応し、適正な活動ができる考え方や態度を身につけることができたか。	情報科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)		
総合的な学習の時間	総合学習委員会	「総合学習、白馬学」では、そば打ちなどのテーマ別学習や進路別授業(進路補習や資格取得講座など)を実施できたか。	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)	
		「総合学習、白馬学」により、生徒が地域について理解を深め、個々の進路実現に向けて意識を高めることができたか。		

	評価項目	評価の観点	担当	目標・留意点(関係組織・評価方法等)
教務	教務	生徒・職員が安心感をもって取り組める環境整備を行う。	教務係	改善提案を20件以上、行なえたか。
		生徒に落ち着いた学習環境や機会を提供し、生徒の学力向上を図ったか。		授業時数の確保や7.12.3月の特別編成授業を通して、7割以上の生徒の学力向上を図ったか。
		地域やPTAとも連携し、地域や小・中学校などへのPRを活性化させたか。		HPなどによる情報発信、教員による中学校訪問・中高連携・小高連携授業を複数回実施できたか。
生徒指導	生徒指導	基本的な生活態度が確立されたか。	生徒指導係	8割以上の生徒が達成できたか。(服装、挨拶、マナー)
		健全な高校生活を送る(豊かな人間関係の形成及び問題行動の防止)ことができたか。		8割以上の生徒の評価が得られたか。
		さまざまな機会を通して、交通事故の防止ができたか。		各種指導を実施できたか。(交通安全講話、自転車乗車指導、)
		さまざまな機会を通して、盗難の防止ができたか。		移動や集会のたびに声かけはできたか
		生徒が安心、安全で学校生活を送ることができたか。		地域、保護者、生徒、職員等からの情報を活用できたか
進路指導	進路指導	生徒の志望や適性・学力などを正確に把握し、適切な情報提供を行い、進路決定まででいねいに指導することができたか。	進路指導係	指導に対して7割以上の生徒が満足したか。(最終学年生徒へのアンケートによる)。
		生徒の希望と意欲に応じて、早い段階から進路目標を持たせ、普通の授業に加え模試や補習などを効果的に組み合わせた学習計画に沿って、戦略的な進路指導を行うことができたか。		指導体制を整え、生徒が目標に向かって学習を進めることができたか。
	キャリア教育	組織的で系統的な教育活動を展開する中で、生徒の人生観・勤労観を養い、目標を持って意欲的に行動することを促せたか。		就業体験、企業見学、職業人講話など、様々な学習の機会を与えることができたか。
	学習指導	授業や公営塾との連携によって生徒の学習状況を把握し、基礎学力向上を目指した取り組み(模試や7時限補習など)を推進することができたか。 学校設定科目「代播きタイム」や朝ドリルを通して、小中学校の学習内容の理解と家庭学習などの学習習慣の定着を推進することができたか。		7割以上の生徒が学力向上を達成したか。(基礎力診断テスト結果)